

1. 事業説明シート

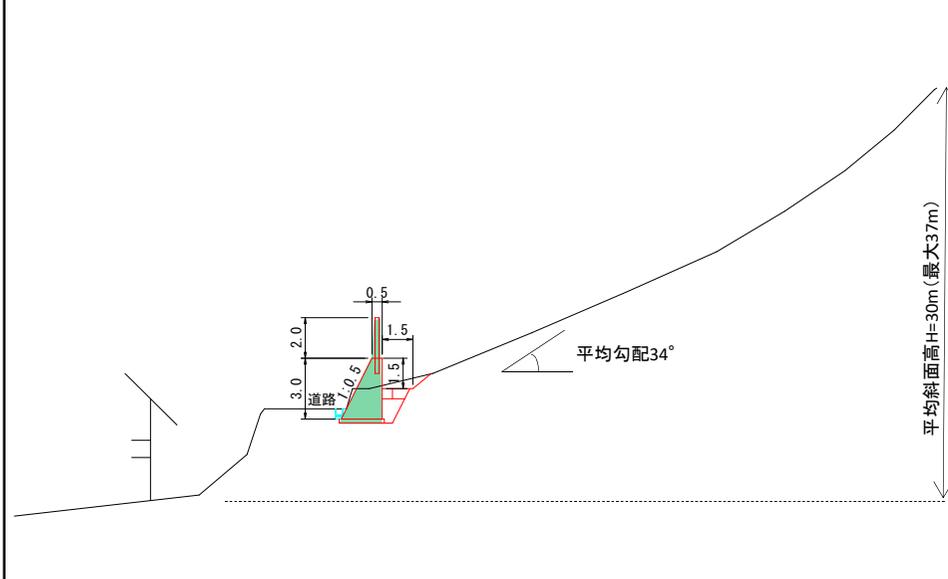
事業名	急傾斜地崩壊対策事業【急傾斜地崩壊対策事業(国補)】	事業箇所	山梨市牧丘町北原	地区名	塩平(シオダイラ)	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要 ①課題・背景 塩平地区は山梨県北東部の山梨市牧丘町北原に位置する急傾斜地であり、平成22年1月14日には土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高30m、平均勾配34度の急傾斜地で、保全対象には人家10戸があり、当該斜面が崩壊した場合、人名に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家10戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 ※評価基準値 □副次目標 — □副次効果 —				(3) 事業の妥当性評価				妥当 妥当でない																																						
				①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。				<input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>		②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。		<input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																		
(2) 整備内容 ①整備内容 重力式擁壁工 L=280m ②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和10年度 ④総事業費 約250百万円 (国費:112.5百万円(4.5/10)、県費:112.5百万円(4.5/10)、その他:25百万円(1.0/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和4年度 地形測量、地質調査、詳細設計 20 百万円 令和5年度 用地測量・調査、用地取得・補償 30 百万円 令和6年度 重力式擁壁工 40 百万円 令和7年度 重力式擁壁工 40 百万円 令和8年度 重力式擁壁工 40 百万円 令和9年度 重力式擁壁工 40 百万円 令和10年度 重力式擁壁工 40 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 未整備				③経済妥当性				<input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>																																						
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>250 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R10</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>209 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">829 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>209 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">274 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">38 百万円</td> </tr> <tr> <td>過去工事費用</td> <td>百万円</td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">5 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">512 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">4.0</td> </tr> </table> ※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている				総事業費	250 百万円	工期	R4~R10	基準年	R3	経済効率性	費用	209 百万円	便益	829 百万円		建設費	209 百万円	一般資産被害	274 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	38 百万円		過去工事費用	百万円	人的被害	5 百万円					その他※	512 百万円		B/C			4.0		
総事業費	250 百万円	工期	R4~R10	基準年	R3																																									
経済効率性	費用	209 百万円	便益	829 百万円																																										
	建設費	209 百万円	一般資産被害	274 百万円																																										
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	38 百万円																																										
	過去工事費用	百万円	人的被害	5 百万円																																										
			その他※	512 百万円																																										
B/C			4.0																																											
⑤整備手法の有効性 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 ⑥環境負荷等への配慮 環境負荷の少ない工法を採用する。 ⑦事業計画の熟度 地元要望に基づいており、山梨市から受益者負担金の同意は得られている。				総合評価				[貢献度ランク:b]																																						
				(4) 事業位置図等 																																										

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断図】



【写真①】 保全対象



【写真②】 斜面状況

